



おきなわ



提供 北大東島沖縄最東端之碑（金城行男）

沖縄県土地家屋調査士会



土地家屋調査士倫理綱領

- 1、使命
不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。
- 2、公正
品位を保持し、
公正な立場で誠実に業務を行う。
- 3、研鑽
専門分野の知識と技術の向上を図る。

目 次

会長就任挨拶	沖縄県土地家屋調査士会 会長 金城 行 男……	1
着任の挨拶	那覇地方法務局 局長 吉 福 拓 也……	3
両副会長就任挨拶	副会長 近 藤 哲 司……	5
	副会長兼財務部長 福 原 義 隆……	6
各理事就任挨拶	半嶺総務部長、比嘉業務部長、細野研修部長、諸喜田広報部長……	7
	澤岬社会事業部長、佐久田理事、野國理事、島袋理事、友利理事	
	高橋理事、吉田理事	
出前授業・職業理解講座	出前授業 沖縄県立美来工科高等学校……	14
	職業理解講座 沖縄県立沖縄工業高等学校……	16
令和6年度 第3回用地職員（実務）研修会……		17
令和6年度 第2回業務研修会……		18
沖縄県司法書士会 業務研修会参加報告 ……		20
第61回定時総会……		22
新入会員紹介……		25
新入会員挨拶	八重山支部 伊良部 義 仁……	26
	南部支部 佐々木 豊……	26
	宜野湾支部 宮 里 保 崇……	27
	八重山支部 知 念 大志郎……	27
法務大臣表彰受賞	那覇支部 下 地 裕 之……	28
全国一斉不動産表示登記無料相談会……		29
九州ブロック協議会・会長会議・担当者会同……		31

寄稿

那覇支部 島袋裕二…… 35

北部支部 細野陽一…… 37

感謝状授与

名誉会長 久高兼一…… 43

スナップレポート…………… 44

編集後記…………… 46

広告…………… 47



会長就任挨拶

沖縄県土地家屋調査士会会長 金城 行 男

第61回定時総会にて沖縄県土地家屋調査士会会長に再任されました那覇支部の金城行男です。2期目の会務運営を執行部で力を合わせ進めて参ります。

第61回定時総会では大幅な会費値上げの議案審議に対して会員の皆様に賛成多数で了承を頂きました、この場を借りて感謝を申し上げます。誠に有難うございました。

又、会務の効率化とデジタル化の推進としまして取り組んでおります「全国統一システム導入検討」につきましても予算執行を議案審議して頂き可決頂いたことに感謝を申し上げます。

本年度と次年度は皆様にお伝えしている通り大きな事業があります。先ずは、本年度の11月14日（金曜日）に迎えます、沖縄県土地家屋調査士会設立60周年祭です。

この会報が発行される時には、周年祭は終了しておりますが、私共執行部の周年祭に対す取組をご紹介しますので、執筆中の8月現在での取組内容を記載します。

今回の周年祭の記念講演会は「琉球国から沖縄、そして未来へ」と言う大項目を掲げ、二人の講師に講演を依頼しました。

一人目が安里進先生です。安里先生は琉球史、考古学などを専門分野に活躍し著書には「古地図で楽しむ首里・那覇」「近世測量絵図のGIS分析」などがあり琉球国時代の測量技術について講談頂きました。

講演をお願いした後、安里先生と初めてお会いして、お酒を飲みながら談笑出来たことが良い思い出になりました。とても気さくに接して頂き周りを和ませてくれました。この場を借りて感謝を申し上げます。

続いての講演をお願いした二人目の先生が、弁護士の藤田広美先生です。

藤田先生は、裁判官をお勤めになり、現在は弁護士並びに琉球大学大学院法務研究科教授でご活躍なされております。

藤田先生には、戦後の沖縄県における所有者不明土地に関する問題について講演して頂き、沖縄県特有の所有者不明土地問題を、民法上の所有者不明土地財産管理人制度を活用し解決していく道筋についてお話しして頂きました。

藤田先生にも、講演をお願いしてから法律事務所で実際に面談して頂き、初対面なのに沢山笑わしてくれた事が良い思い出です。この場を借りて感謝を申し上げます。

この様に、大項目の「琉球国から沖縄、そして未来へ」を掲げ、琉球国の測量技術、沖縄県特有の所有者不明土地問題を安里先生、藤田先生に受け持って頂きました。

次はいよいよ「そして未来へ」です。私たちが未来に向けての主役です。先人の方々が繋いできた沖縄県土地家屋調査士会を次世代に繋いで行きます。

「先人の方々が繋いできた沖縄県土地家

屋調査士会」と記載したら重圧が掛かりますが、沖縄の古くからの言葉に沿って頑張っていけば問題無いと思います。その言葉は「まくとうーそうけーなんくるないさ」です。

「なんくるないさ」だけが一人歩きをしておりますが、実際は「誠をしておけば、何とかなるさ」です。

70周年の時、どのような青空が広がっているかは私にはわかりませんが、私達の一人一人が土地家屋調査士に誇りを持ち、真摯に業務に向き合い、県民の期待に応え誠実に正しいことをしていれば、次の世代の土地家屋調査士が笑顔で70周年祭を迎えるはずです。

その事を祈念し私の挨拶とします。





これからもよろしくお願いします！

那覇地方法務局長 吉 福 拓 也

沖縄県土地家屋調査士会会員の皆様、平素から法務行政、特に沖縄県における表示登記業務や土地の筆界を明らかにする業務の適正・円滑な運営に多大なる御理解と御協力をいただいておりますことに、局を代表して深く感謝申し上げます。

また、沖縄県土地家屋調査士会創立60周年に当たるこの年に那覇地方法務局長を拝命し、こうして会員の皆様に御挨拶する機会をいただきましたこと大変うれしく、身に余る光栄に存じます。

さて、私、本年4月に着任しまして早8か月が経過しますが、これまでに5月16日に開催されました貴会定時総会の折と、先月14日に盛会のうちに終わりました創立60周年記念式典の折に、法務局の抱える課題を含めた近況等についてお話しさせていただいておりますので、今回は、私個人の思いなどを書かせていただこうと思います。

と、その前に、まずは自己紹介からさせていただきますが、出身と採用は鹿児島でありまして、原発で有名な薩摩川内市で生まれ、鹿児島市で育ち、平成2年4月に鹿児島地方法務局の伊集院出張所という本局直轄の出張所（規模的には宜野湾出張所と同じくらいです。）に採用されました。2年間、乙号、受付、記入を経験しましたが、当時は登記事務がコンピュータ化されていませんでしたので、紙の登記簿に和文タイ

プライターを使って登記事項を記入していくというスタンスで、登記実務とタイプ操作の両方とも不慣れだったことから、先輩の処理する業務量に追いつくことだけを考え、必死に受付や記入を行った思い出があります。

その後、支局で供託と戸籍の業務を経験し、それ以降は本局で総務、会計、BC（バックアップセンター：当時は主に登記のコンピュータ化を行う部署）と異動し、ほとんど登記事務には携わることがなかったところ、入局15年目の冬に、今は無き国土建設学院（東京都小平市）において全国の法務局職員向けに行われていた「中央測量専科」という、半年間、測量を学ぶ研修に参加したことを契機に、その後の異動範囲が鹿児島県内から千葉→東京→福岡→沖縄→福岡→埼玉→滋賀→福岡と広がりまして、前任の福岡法務局人権擁護部長から、今回、二度目の那覇局勤務となった次第でございます。

前述した「中央測量専科」においては、小平のキャンパスで基準点測量、登記測量、分割・復元測量、写真測量などについて学び、富士山の麓にある静岡県富士宮市の富士教育訓練センターでは約1か月泊まり込んで、センター周辺の凍り付いた道路の上で基準点測量の実習を行ったことが今では懐かしく思い出されます。当時はRTK測量が出始めた頃と記憶していますが、GP

S、電子基準点の登場により、測量技術がものすごい早さで進歩していることを実感した研修でした。残念ながら、測量に関する知識や技能は県外最初の赴任先である千葉局でしか活かせませんでした。今でも道ばたでTSをのぞいている方を見かけると、自然と歩みがゆっくりとなり、心の中で「お疲れ様です!」とつぶやいております。

さて、20年前の測量の知識しかなく、かつ、最近の職場のデジタル化に乗り遅れている私が言うのも何ですが、今、国策として、デジタル庁を中心に日本のデジタル社会の基盤となる様々なベース・レジストリの整備等が行われています。このベース・レジストリの整備により、行政手続におけるワンスオンリー（二度手間をなくす）や民間事業者のDX（デジタルトランスフォーメーション）促進が期待されるわけですが、皆様、御承知のとおり、不動産に関するベース・レジストリもその一つでありまして、不動産ID、地番、住所、所有者情報、権利関係などが構成要素とされており、このことは土地や建物の情報がデジタル社会の基盤として、これまでも、これからは必要とされていくことを表しています。そして、直近では登記所備付地図、公図、各種図面データが不動産ベース・レジストリにとって有用なデータとなり得るかの検討も行われているところで、まさに皆様の業務の成果がデジタル社会の基盤を作ることになるに違いないと思っております。

以前、といっても前述の採用された出張所でのことですが、「俺たちは一生残る図面を作っている。」と（確か）地積測量図を見せながら話されていた調査士の先生がおられました。今となっては、その先生に

お会いする機会はなくなりましたが、世の中が紙からデジタルになっても土地家屋調査士業務の位置づけは変わらず、不動産の権利の明確化に寄与する素晴らしい仕事であり、いつの世においてもその仕事の成果は社会の基盤を形作る貴重な財産であります。

我々、登記所を運営する側の法務局職員も国民の権利保全のために皆様と共に一丸となって登記行政を守り、いただいた財産を未来へ引き継ぐ所存でございますので、引き続き、皆様からの一層の御支援と御協力をお願いしまして、私の思いをこの辺りで締めさせていただきます。拙文にお付き合いいただきありがとうございました。



就任挨拶

副会長 近藤 哲 司

この度、第61回定時総会におきまして、金城行男会長より副会長にご指名いただきました、那覇支部会員の近藤哲司です。どうぞよろしくお願い致します。

今回の就任は前期に続き二期目となります。引き続き、業務部・研修部・社会事業部の三部門を補佐することになりました。前期の2年間では、正直なところ「これで十分だった」と言えませんが、なんとか最低限の役割は果たせたかな？と思っています。これもひとえに、本会事務局や各部の部長の皆さんの支えがあったからこそです。本当にありがとうございました。

前期の就任挨拶で「これが最後のご奉公」と言ってしまいましたが、まさかの再登板となりました（笑）。体力も気力も若い頃のようにはいきませんが、「とうすい（オジー）」なりに、できる限りの力を振り絞って頑張るつもりです。これまで通り、温かいご指導・ご支援をいただければ幸いです。

なお、会へのご意見やご要望、ご不満、ご苦情、あるいは励ましのお言葉など、どのような内容でも構いませんので、ぜひ私のメールアドレスまでお寄せいただければ幸いです。会員皆様のお声を真摯に受け止め、今後の運営に活かしてまいりたいと考えております。

また、「おきなわ境界問題相談センター」のセンター長も引き続き務めさせていただ

くこととなりました。昨年は、センター開設から17年目にして初めて、ADRによる本相談および調停が行われましたが、成立に至らなかった事が残念でなりません。センター運営に関しては、事前相談を担当してくださった相談員の皆さま、運営委員・相談委員・調停委員の方々の多大なるご尽力のおかげで、無事に運営することができました。心より感謝申し上げます。

最後になりますが、今年は調査士会創立60周年という節目の年でもあります。これを新たなスタートとして、次代を担う若い世代の皆さんにもより積極的に会の運営に関わっていただきたいと願っています。同時に、近藤オジーのことも、どうか温かく見守っていただけますと幸いです。

改めまして、今期2年間、どうぞよろしくお願い致します。

以上



就任挨拶

副会長兼財務部長 福原 義隆

この度、沖縄県土地家屋調査士会の副会長兼財務部長として、引き続き重責を担うこととなり、改めて身の引き締まる思いでございます。これもひとえに、日頃より当会の活動にご理解とご協力を賜っております会員の皆様、そして温かいご支援とご期待をお寄せくださる関係各位の皆様のおかげであり、心より深く感謝申し上げます。

一期目では、皆様と共に多岐にわたる課題に真摯に向き合い、当会のさらなる発展に向けた確固たる基盤を築き上げることができました。財務面においても、安定した運営基盤を確立し、将来にわたる持続的な成長のための土台を固められたことは、皆様のご協力なくしては成し得なかったことです。この貴重な経験を胸に、二期目では、この揺るぎない基盤をさらに強靱なものへと発展させていくことを目指してまいります。激動の時代において、専門家としての信頼をより一層高め、社会の変化に柔軟かつ迅速に対応できる、強固な組織として成長できるよう、誠心誠意、職務に邁進いたします。

私たち土地家屋調査士は、土地や建物の権利を明確にする登記業務を通して、県民の皆様の財産を守り、安心と信頼を提供するという社会的使命を担っています。この役割を深く自覚し、地域社会の健全な発展と豊かな未来を築くための力になりたいと

強く願っております。

結びに、皆様のご期待に応えられるよう、微力ではございますが、全力を尽くしてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



新役員のあいさつ

総務部長 半 嶺 当 徹

このたび、調査士会の総務部長として2期目を務めさせていただくことになりました、半嶺当徹です。

理事の皆さまの力強いサポートのおかげで、安心して役職に取り組むことができます。時には支えていただき、時には学ばせてもらいながら、本当に頼もしいメンバーに恵まれて感謝しております。

総務の仕事は多岐にわたり、責任の重さを実感し、私自身も気を引き締めなければと感じています。ものごとを進めていくにあたり、調査士法や会則に沿って判断する必要があるため、会則を片手に理事会に参加しています。

今年度は総会で承認された統一システムの詳細を詰めるため、2週間に1回の打合せに参加して協議を重ねています。よりスムーズな会務運営を目指して取り組んでま

いります。

また総会でも質問のあった行政への調査士業務登録について、官公署や公嘱協会と連携をとりながら対応していく予定です。

さらに、今年は調査士会60周年事業、そして来年2026年には九州ブロック担当者会同を控えています。これら大きなイベントを成功させるため、理事、会員の皆様と力を合わせて準備を進めていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

最後に私は今期の役員を通して、「楽しく活動すること」を目標にしたいと思います。まだまだ学ぶことばかりですが、皆様と一緒に会の行事に取り組めることを嬉しく思います。

今期もどうぞよろしくお願いいたします。



役員就任のご挨拶

業務部長 比 嘉 常 博

令和7年度も引き続き業務部長の役割をさせていただくことになりました。1任期中は諸先輩方のご指導を仰ぎ何とか役割をこなすことが出来、ありがとうございます。

た。2任期目に入っておりますが気を引き締めて会務に当たりたいと考えております。

役員として会務を行うと他県会の役員の方と接する機会があり、見聞を広める上で、

良い経験となっています。毎年10月の九州ブロック協議会担当者会同では2日間に渡り九州7県会の担当者が開催地に一堂に会し各議案について意見を述べ合いそれぞれの課題や問題点について意見交換ができることは有意義なことだと感じています。協議内容については本会のHPにて公開していますので会員の皆様はご確認ください。

話は変わりますが役員となつての約2年間で、私にとって人生初体験が二つありました。一つ目の体験は、リフレッシュの為にゴルフを再開し暫く経ったある日のショートコースでの出来事です。メンバーに恵まれ楽しくプレーしていると下手な私にホールインワンが出ました。160ヤードくらいの距離で、まさかの出来事に感動しました。「人生の良運を使い切ってしまったかも・・・笑い。」

二つ目の体験は、良くないことで業務中の現場での出来事で、コンクリートの軒に

頭をぶつけ「あがー」で収まったと思いきや、約2か月後に体調の異変を感じ救急診療により頭部の手術をすることになった事です。病名は「慢性硬膜下血種」というもので頭蓋骨の内側の硬膜から時間をかけて少しずつ出血があり200ccほど溜まった血液を除去しました。頭を打つと怖いですね。幸い後遺症もなく業務を続けることができることに感謝しています。人生、この先何が起こるかわかりませんが、「今を大切に生きる」をモットーに歩んで行きたいと考えております。

また、今年は沖縄県土地家屋調査士会創立60周年祭が11月に予定されており、執行部では着々と準備が進んでいます。私にとっては、初めての周年祭で楽しみにしています。

最後に、二任期目も微力ながら、努力して参りますので皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



研修部長就任あいさつ

研修部長 細野 陽 一

この度、前期に引き続き、研修部長を務めさせていただくことになりました。北部支部の細野です。

前回は初めての役員ということもあり、分からないことばかりで、皆様にはご迷惑をおかけすることもあったかと思えます。力不足を感じることも多々ありましたが、金城会長をはじめ、理事役員の皆様、事務

局、そして会員の皆様の温かいサポートのおかげで、なんとか二年の任期を終えることができました。本当にありがとうございました。

正直、引き続きこの大役を担うことには不安もありますが、経験豊富な理事役員の皆様との交流は、自分自身の成長に繋がっていると実感しています。また、沖縄会や

土地家屋調査士制度について広い視野で考えるこの機会は、今後のキャリアにとって、とても貴重なものだと感じています。

私自身、まだまだ若輩の身ですが、さらに若い世代の方々が役員として活躍されている姿は、とても頼もしく、沖縄会の未来は明るいなと期待しています。支部や本会の会務は大変なこともあります、知識も経験も豊富な先輩方から学べる絶好のチャンスです。若い世代の皆さんには、ぜひ積極的に参加していただけたら嬉しいです。

今期二年間も、微力ながら沖縄会の発展のために精一杯がんばりますので、皆様、どうぞこれからもご指導のほど、よろしく

お願いいたします。

最後に、研修部からの告知です。

日本土地家屋調査士連合会主催の第1回年次研修の1期において本年度が最終年度となっております。この研修は日調連会則で受講が義務付けられた必須の研修であり全会員が受講しなければならないものとなっています。令和7年度までに受講しなかった場合、注意勧告の対象となり、法務局への報告が義務付けられる事になります。

受講義務があり、なおかつ未受講の会員の方におかれましては、令和8年1月に開催予定（執筆時点）の年次研修に必ずご参加されます様宜しくお願い申し上げます。



広報部就任のあいさつ

広報部長 諸喜田 秀 和

広報部長として2期目を務めさせていただきます宜野湾支部の諸喜田秀和です。

1期目の2年間、会員の皆様のご協力のもと、無事に任期を終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

1期目では、土地家屋調査士の認知度向上を目指し、県内高校での出前授業を実施いたしました。将来を担う若い世代に、私たちの仕事の魅力や社会的役割を直接伝える貴重な機会となり、広報活動として成果を挙げることができたのではないかと感じています。

2期目となる今年度は、これまでの取り組みを土台に、さらに一歩踏み込んだ広報活

動を展開していきたいと考えています。具体的には、プレスリリースの発信を積極的に行い、新聞・テレビ・ウェブ等のメディアを通じて、土地家屋調査士の専門性や社会的意義を広く発信してまいりたいと思います。

また、本年は沖縄県土地家屋調査士会創立60周年という大きな節目を迎えます。広報部としても、この記念事業を大いに盛り上げるべく、各種広報活動に積極的に取り組み、会の歴史と誇りを内外にしっかり伝えてまいりたいと思っております。

引き続き、皆様のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会事業部長就任の挨拶

社会事業部長 澤 岷 公 亮

このたび、社会事業部長に再任されました澤岷公亮です。今期で2期目となります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

社会事業部では、今年度開催される沖縄県土地家屋調査士会創立60周年記念講演会においても取り上げられる「所有者不明土地」の問題に深く関わりがあります。今後は、所有者不明土地管理制度をできるだけ早期に実務へ活用し、手続の流れや費用等を把握していきたいと考えております。

また、所有者不明土地問題の解決策の一つとして、令和8年4月1日から住所等変更登記の義務化が始まります。これに伴い「スマート変更登記」サービスも利用可能となります。ご存じの方も多いかと思いますが、これは「検索用情報の申出」をしておけば、住所や氏名に変更が生じた際に法務局がその事実を確認し、本人の同意を得たうえで職権により変更登記を行うサービスです。私自身もオンラインで申出を行いましたが、比較的簡単に手続を完了することができました。

私事で恐縮ですが、最近話題の生成AIを利用するようになり、私生活や仕事の両面で大きな変化がありました。これまでは、少額債権の回収を弁護士に依頼すると費用倒れとなることから、泣き寝入りせざるを得ない場合もありましたが、生成AIを活用して裁判の流れや訴状・準備書

面・証拠説明書・陳述書の作成方法を調べ、本人訴訟として提起することで回収ができるようになりました。さらに、分厚いマニュアル本や実務書も生成AIに読み込ませておけば、会話形式で質問し回答を得られるため、これまで購入しても十分に活用できなかった書籍類も実務に役立てられるようになりました。

最後になりますが、皆様のご支援とご協力を賜りながら、社会事業部の職務を精一杯務めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



理事就任の挨拶

社会事業部・総務部理事 佐久田 俊 充

この度、社会事業部・総務部の理事に就任しました南部支部の佐久田俊充です。

南部支部からの推薦により二期目の理事となります。

一期目では分からないことばかりでしたが、理事会や懇親会、事業活動を通じて、経験豊富な先輩役員の方々から色々と学ばせてもらい、貴重な経験させて頂きました。大変感謝しております。このような交流ができたことは、土地家屋調査士としての経験が浅く、開業したばかりで不安だった私にとって何度も（心の）支えになりました。

現在は会務を通じて土地家屋調査士業務の奥深さに気づかされるばかりで、自分自身の不勉強を痛感しているところであり、理事として職責を果たせていけるのか自信はありませんが、会員同士で協力関係を築きながら、少しずつ成長できるよう努めていきたいと思っております。引き続き微力ではありますが、沖縄県土地家屋調査会の発展に貢献できるよう頑張っていきますので、皆様のご協力のほどよろしくお願い致します。



理事就任の挨拶

総務部・研修部理事 野 國 昌 淳

会員の皆様、こんにちは。北部支部の野國昌淳です。本会の総務部・研修部理事の二期目になります。どうぞ宜しくお願いいたします。

私は総会や業務研修会等で司会をする機会を頂いておりますが、前期では皆様のご協力により、スムーズに進める事ができました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

今期も皆様のお役に立てるよう、調査士

会の発展のため、2年間頑張りたいと思います。会員の皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



理事挨拶

広報部・業務部理事 島 袋 裕 二

広報＋業務の理事を業務分掌により任命されました。島袋裕二です。

公嘱協会との橋渡し役も含めて努力いたしますので、会員皆様のご協力をお願いします。

今年は本会の60周年の節目であります、会員各位の参加、協力、が常に必要となりますので、本会を盛り上げてくださいます様、重ねてお願い申し上げます。



理事就任のあいさつ

業務部・研修部理事 友 利 鉄 也

令和7年4月宮古支部定時総会にて宮古支部長に就任いたしました、友利鉄也と申します。

開業4年目で未熟者の自分が宮古支部長兼理事という立場に戸惑いながらも前任の佐平博昭先生に助言を求め、会員同士のコミュニケーションを図っています。

あがり症で人前に出る事が苦手な性格の

自分に務まるのかどうか不安でいっぱい、わからない事ばかりですが役員を務められる先生方のご指導のもと頑張りたいと思います。

これから2年間会員の皆様のお役に立てるよう微力ながら精一杯取り組んでいきますので、会員の皆様ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



理事就任のあいさつ

業務部・研修部理事 高 橋 潤

このたび、業務・研修部の理事を務めさせていただくことになりました、八重山支部の高橋です。

理事としては2期目になり、ようやく「理事ってこういうことか!」と少しずつ分かってきたような、まだ分かってないような…そんな段階です(笑)。

1期目では理事の活動を通してたくさんの方と出会い、学び、助けられながら活動

を続けてきました。

楽しく、明るく、ちょっとユルく(笑)——でも本気で、調査士の未来を明るくしていけたらと思っています。

これからもどうぞ温かく見守っていただき、たまにご指導いただきながら応援してもらえたらうれしいです。

どうぞよろしくお願いいたします!



新役員の挨拶

社会事業部・広報部理事 吉 田 美 苗

このたび調査士会の新役員を務めさせていただくことになりました、吉田美苗です。

今年は調査士会の60周年という大きな節目であり来年には九州ブロック担当者会同という大きなイベントを控えております。この大切な時期に役員として加わることが

でき、心から光栄に思っております。

まだまだ至らない点も多く、正直不安もございますが、会長や他の理事の先輩方々とともに協力して準備を進め、無事に事業を終わらせられるよう努めてまいります。どうぞ宜しくお願いします。



出前授業・職業理解講座



令和6年 美来工科高等学校 出前授業

令和6年10月18日（金）に沖縄県立美来工科高等学校土木工学科1年生を対象に出前授業を、下記の内容で行いました。

① 座学講義 「土地家屋調査士とは」

講師 半嶺当徹総務部長



② 屋外講義 「土地家屋調査士の実務」

講師 細野陽一研修部長、比嘉常博業務部長、野國昌淳理事



昨年度に引き続き、2回目の出前授業で土木工学科の1年生28名の生徒に土地家屋調査士を知ってもらうための授業をさせていただきました。

前回同様、午前中の2時限目と3時限目の時間をいただき、最初の2時限目の授業は座学で土地建物の不動産についての登記や法律について解説し、土地家屋調査士の仕事が、普段の生活にどのように関わっているのかを説明しました。また、測量について詳しく知っている生徒たちなので、測量士が主に関わっている公共の測量や設計の仕事と、土地家屋調査士が行う仕事の違いなどをお話しました。

次の3時限目の授業では、グラウンドでトータルステーションを使った境界の復元作業、境界確認の立会の寸劇を行い、生徒にも手伝ってもらって、土地家屋調査士の仕事を体験してもらいました。この授業で「隣の土地との境界線をどうやって決めているのか」や、「トラブルがあったときにどう解決するのか」などを、寸劇で再現して境界の大切さを説明しました。

この授業をとおして土地家屋調査士の仕事内容や社会的な役割が生徒に伝わり、将来の職業選択の一つとして考えてもらえるよう、今後も継続して活動し、その情報を広く発信していきたいと思います。



令和6年 沖縄工業高等学校 職業理解講座

沖縄県立沖縄工業高等学校が実施する「職業理解講座」に参加しました。本講座は1年生を対象とした職業理解の場として、進路の視野を広げることを目的に開催されました。

日 時：令和7年2月21日（金）
会 場：沖縄県立沖縄工業高等学校
対 象：土木科、建築科 1年生計54名（昨年度比+17名）
講座形式：1回30分の講座を3クール実施 参加企業数：全19社
講座受講形式：生徒が興味のある企業の講座を3つ選んで受講

講座内容

講座は半嶺総務部長が講師として、座学講義「土地家屋調査士とは」を実施しました。講義では以下の内容について分かりやすく説明しました。

- ・土地家屋調査士の業務内容
境界の測量や土地・建物の登記に関する業務について解説。
実際の業務の流れを具体例を交えて説明し、生徒たちの理解を深めました。
不動産の権利の明確化に貢献する重要な職業であることを伝え、測量や登記の仕事が社会において果たす役割について説明しました。
- ・土地家屋調査士試験について
資格取得の条件や試験の内容を紹介し、測量士補や建築士の資格を持っている場合、一部試験が免除されることを説明しました。
- ・進路の視野を広げる機会として
土地家屋調査士は独立開業できる資格であり、働き方の選択肢が広がることを伝えました。

講座を終えて

昨年度に続き2回目の参加となった本講座では、昨年度より17名多い生徒が受講し、土地家屋調査士という職業への関心が高まっていることがうかがえました。特に、資格取得の方法や独立開業、収入面については生徒たちの反応が良く、将来の進路として真剣に考えるきっかけになったと感じられました。



令和6年度 第3回用地職員(実務)研修会

令和6年11月27日(水) 午前10時～午後4時(午前：沖縄県土地開発公社会議室にて室内研修)、(午後：豊見城市字高安地内にて現場研修)の研修会が下記の通り開催されました。

研修会には、離島からの参加もあり、年々増加し72名が受講されました。



午前研修会

① 用地測量について(研修部長 細野陽一)



② 地積測量図と不動産調査報告書について(公嘱協会 代表理事 島袋裕二)



午後研修

1. GNSS測量機を用いた基準点等の位置誤差検証(担当：半嶺当徹)
2. トータルステーションを用いた境界点の探索
(担当：平良正人)
3. 測量機の添え付け方(担当：細野陽一)
4. 測量機類の機能説明(ノンプリズム・3Dスキャン)
(担当：大城哲也)
5. オフセット方法による境界点の探索(担当：島袋裕二)



令和6年度 第2回業務研修会

日 時：令和7年2月10日（月）

場 所：八汐荘 1階 屋良ホール

開会の挨拶 比嘉常博業務部長
会長挨拶 金城行男会長
閉会の挨拶 細野陽一研修部長



司会の高橋潤理事



金城行男会長の挨拶

研修1 「筆界研究委員会の報告から地図の成り立ち及び筆界探索について考える」
研修2 「筆界特定の事案例について考える」

第2回業務研修会の研修1では筆界研究委員会による沖縄の地籍図の変遷や画地調整事例などの報告が行われました。

研修1 「筆界研究委員会の報告から地図の成り立ち及び筆界探索について考える」

- | | |
|---------------------|-----------|
| ① 沖縄県の地籍図変遷の概略とその特色 | 講師：比嘉定善委員 |
| ② 筆界探索に係る調査及び画地調整事例 | 講師：島袋徹志委員 |
| ③ 改測した三角点の地図の復元方法 | 講師：平良正人委員 |
| ④ 特殊な調査資料・筆界の不整合事例 | 講師：田場盛次委員 |

筆界研究委員の報告では、沖縄県における地籍図の変遷について、特に米国統治時代の沖縄の地籍調査の方法について詳しい説明がありました。地籍調査で使用された平板測量の実演では三脚や測板、アリダートなどを初めて見る若手会員も多く、大変貴重な学びの機会となりました。

また、筆界探索に関する調査手法や画地調整の実例についての説明では、経験の浅い



島袋徹志委員 比嘉定善委員



田場盛次委員 平良正人委員

会員にとっては、実務に直結する重要な内容であり、大変有意義なものになったと思います。



平板測量を実演する比嘉定善委員



研修会の様子



Web 配信参加の会員

続いて、研修2では会場で参加した会員が8つの班に分かれ、筆界特定の事例案についてのグループ協議を行いました。その後、各班が実務を行う上で留意しなければならない点について協議内容を発表し、意見交換が行われました。



グループ研修の様子



各班の協議内容の発表

沖縄県司法書士会 業務研修会参加報告

研修部長 細 野 陽 一

去る令和7年2月26日、沖縄県司法書士会主催の業務研修会が開催され、当会より業務部の比嘉常博部長と共に、私が研修部長として講師を務めさせていただきましたので、ご報告いたします。

本研修会は、『司法書士が知らないであろう・知っておいてほしい表示登記』をテーマに、隣接法律専門職である司法書士の先生方へ、我々土地家屋調査士の業務へのご理解を深めていただくことを目的として開催されました。

90分の講義は二部構成とし、前半は私が担当いたしました。主な内容として、①表示登記の基本となる表題部の読み解き方、②分筆登記の申請になぜ時間を要するのか、という2点を中心に、実務上のフローチャートや最新の測量技術（GNSS、3Dスキャナ等）も交えながら解説いたしました。また、建物登記における種類や構造、床面積の考え方といった基礎的な論点についても触れさせていただきました。

講義中の質疑応答では、「区分建物の専有部分間の障壁を除去した場合の登記」について大変専門的なご質問を頂戴し、参加された先生方の知見の深さと高い関心に身の引き締まる思いでした。

後半は、比嘉業務部長が登壇し、より専門的な見地から解説を行いました。特に、那覇地方法務局の主席登記官との意見交換記録を基にした解説は、司法書士の先生方の実務に直結する内容であり、非常に有益な情報提供になったことと存じます。比嘉部長の深い知識と折衝力なくしては成り立たない、説得力のある講義でした。

研修終了後には、調査士でもある屋宜宣勇先生をはじめ、多くの先生方から温かい励ましのお言葉をいただき、大きな達成感と共に、本研修会の成功を確信いたしました。

通常業務とは異なる緊張感の中、このような大役を務めることは大きな挑戦ではありましたが、比嘉部長をはじめとする役員の皆様の力強いサポートのおかげで、無事に責務を果たすことができました。今回の経験は、土地家屋調査士として更なる成長の機会を与えてくれたものと深く感謝しております。

末筆ではございますが、このような貴重な機会を設けてくださいました沖縄県司法書士会の皆様に心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

…実はこの文は私が作成した文章をA I（GoogleGemini：2.5P R O）が再構築したものです…。夜中の変なテンションで書き上げた謎に紙面を無駄遣いした報告書を諸喜田広報部長に提出したのですが、大変優しいお言葉で労いを頂きつつも『長すぎて掲載無理！（意訳）』とのご指摘を頂きました（´;ω;`）

締め切り間近、執筆時納品ラッシュ、九州ブロック協議会担当者会同、沖縄県土地家屋調査士会60周年記念式典直前、明日は長男の運動会…！

もはやグーグル先生に頼るしか道はありませんでしたが、A 4用紙2ページくらいに要約してとお願いしたら、無慈悲に1分ほどでA 4用紙1枚に完璧にまとめてくれました。

しかしながら、細野の無駄なパッションをこのままお蔵入りにするのは悲しい！…っことで、完全版をインターネットにコソッとアップしました。お時間がありましたらA I との比較、そして最新のA I の優秀さをぜひご体験ください。



➡ 完全版【?】リンク
沖縄県司法書士会の皆様
ありがとうございました！

第61回 定時総会

日 時：令和7年5月16日（金）

場 所：ノボテル沖縄那覇



金城会長の挨拶



前執行部

伊盛進議長のもと議事は進行、第7号議案の役員改選では、会長立候補に那覇支部の金城行男会員の当選が報告され副会長に那覇支部の近藤哲司会員、中部支部の福原義隆会員の就任が承認されました。



伊盛進 議長



会場の様子



新体制の理事



新体制の理事

今年は役員改正の年となりました。また、今年は60周年事業を迎え、さらに来年には九州ブロック担当者会同の担当会も控えております。そのため、執行部においては前回の担当理事が続投し、理事には新たに数名が就任いたしました。



たくさんのご質問、ご意見、ご要望ありがとうございました。



セレモニー（式典の部）



倫理綱領斉唱の友寄翔太中部支部会員



来賓の皆様



懇親会



新入会員紹介



い ら ぶ よ し ひ と
伊良部 義 仁

平成10年10月生

登録番号 第539号

入 会 令和6年10月1日
登 録 令和6年10月1日
事務所 〒907-0243
石垣市字宮良308番地
電 話 070-8902-2463



さ さ き ゆ た か
佐々木 豊

昭和24年10月生

登録番号 第540号

入 会 令和7年3月3日
登 録 令和7年3月3日
事務所 〒901-1103
島尻郡南風原町字与那覇539番地1
満天ビル4 306
電 話 098-995-8880



み や ざ と や す た か
宮 里 保 崇

昭和45年9月生

登録番号 第541号

入 会 令和7年5月1日
登 録 令和7年5月1日
事務所 〒901-2224
宜野湾市真志喜3丁目23番2-701号
Fステージ真志喜
電 話 090-8294-4055



ち ね ん た い し ろ う
知 念 大志朗

昭和56年4月生

登録番号 第542号

入 会 令和7年5月1日
登 録 令和7年5月1日
事務所 〒907-0023
石垣市字石垣749番地2
電 話 090-1367-9395

新入会員挨拶



八重山支部
い ら ぶ よ し ひ と
伊良部 義 仁

会員の皆様、はじめまして。

令和6年10月より八重山支部に入会いたしました、伊良部義仁（いらぶよしひと）と申します。

石垣島出身で、東京にて短期間ではございますが補助者としての業務を経験いたしました。補助者としての実務経験はあるものの、自身の名義で登記を行うようになってからは、改めてその責任の重さを実感し、日々緊張感を持って業務に臨んでおります。そのような中、八重山支部の先輩方には、困った際に快くご助言をいただき、丁寧にご指導くださるなど、大変心強く、深く感謝申し上げます。

また、地元・石垣島にて事務所を開業できたことにも、感謝の念を抱いております。今後は、地域の皆様との信頼関係を築きながら、「相談しやすく、頼れる土地家屋調査士」として、地元に貢献できるよう努めてまいります。

開業から1年が経過いたしましたが、まだまだ未熟な点も多く、日々研鑽を重ねているところです。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



南部支部
さ さ き ゆ た か
佐々木 豊

初めまして。令和7年3月に登録・入会しました南部支部所属の佐々木豊と申します。ニューフェイスといっても過去昭和53年から20年間沖縄県土地家屋調査士会に入会しておりました。ゆえあって、鳥取県に帰りましたが、鳥取県でも10年間土地家屋調査士業務をやっておりました。つまり現在は出戻りでございます。

何故沖縄に？長男夫婦が沖縄に住んでおり、孫達にも会えることを楽しみに沖縄に戻りました。ブラブラ年金生活を送るわけにもいかず、長年の経験を活かして土地家屋調査士業務を始めた次第でございます。

何卒老練のニューフェイスですが健康に留意して精進してまいりますので、宜しくお願い致します。

新入会員挨拶



宜野湾支部
みやざと やす たか
宮 里 保 崇

このたび沖縄県土地家屋調査士会に入会させていただきました、宮里保崇と申します。

前職では28年間、警察官として勤務しておりましたが、かねてより関心のあった不動産業務に携わるべく、一念発起して土地家屋調査士の資格に挑戦し、今春、念願の土地家屋調査士の登録を得ることが出来ました。

現在、他の先生の下で勉強させていただいたり、ご依頼を受けた現場で試行錯誤しながら業務を進めているところですが、試験だけの知識では到底対応出来ないような専門的な仕事に悪戦苦闘の日々を過ごしております。

私の場合、測量や登記の知識や実務経験もほぼ無い状態からのスタートため、当然人一倍の努力が必要とされますが、前職で培った「責任感」や、「誠実さ」「粘り強さ」をこの仕事でも大切にしながら、一步一步成長していきたいと思っております。

今後も諸先輩方のご指導を仰ぎつつ、地域の皆さまのお役に立てる調査士を目指してまいりますので、ご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



八重山支部
ちねん たいしろう
知 念 大志朗

会員の皆様はじめまして、八重山出身の知念大志朗と申します。

測量士である父の影響で調査士を目指すことになり、愛する妻の応援もありまして、晴れて合格後の令和7年5月1日に入会させていただきました。

測量業の経験が6年あり、それ以前は保険を紹介する営業マンとして働いていましたが、調査士業務の経験がなかったため開業後すぐは、非常に苦労していました。ひとつひとつの案件を丁寧に調査し、測量の現場ではTSもしっかり据えて、私の「体型」のように、安定感のある仕事を目指したいと思っております。

日々勉強の毎日ですが、一日でも早く、地域の皆様のお役にたてるよう努力してまいりますので、先輩調査士の皆様、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

★下地裕之会員が法務大臣表彰を受賞されました★

令和7年6月17日、18日に日本土地家屋調査士会連合会第82回定時総会において、多年にわたり業務に精励して法務行政の運営に寄与された功績として、受賞されました。

以下、下地裕之会員の言葉を記します。

① 受賞の素直な感想を。

昭和62年1月に登録して、今年で開業39年目に入り素直にありがたいと思います。

② 役員活動を始めたキッカケとその間の苦労した点を教えてください。

開業年の8月頃から、5年先輩の「宮城朝光先生」に声かけられ、支部の勉強会への参加や情報交換会へのお誘い、また、その場で支部役員への推薦を頂き翌年には支部役員を引き受け、役員活動が始まりました。

業務の多忙と、役員会の忙しさが重なり大変だったと記憶しています。対処法は残業をして出来るだけお客様に迷惑をかけないように努力していました。

③ これまで土地家屋調査士業務をどのような思いで取り組んでこられましたか。

まずは、先輩、同僚が仕事を紹介していただいた開業当初には、大変ありがたく感謝申し上げます。その間依頼された業務を「早く、正確に、解りやすい書類、図面、説明」に心がけて、新規の業務に結び付け信頼を得られるように、取り組んできました。

④ 土地家屋調査士業を続ける上で、ご自身を支えた信念、原動力は何ですか。

信念：お客様に丁寧にわかりやすい成果を納める事を心掛けています。

原動力：建物を建てた方、土地を購入された方、仕事を納めたお客様からの感謝の言葉を頂くと、資格者として信頼を得られたこと、また、頑張ってきたことが良かったと思える充実感が原動力となっています。

⑤ 今後の展望、力を入れたいことはありますか。

現在も多くの取引先から業務依頼を受けていますので、それらを丁寧に処理する事を心掛けていく事と、長男、次男が補助者として、私を支えてくれているのですが、彼らが土地家屋調査士の資格取得を実現し、共に業務に取り組むことを考えています。

⑥ 後輩会員へのメッセージをお願いします。

土地家屋調査士業は依頼者から頂いた業務を、真面目に処理し、専門職として説明を丁寧にし、成果の書類等、図面等も丁寧に作成して、仕事から信頼を得て次へと繋げる方法で業務に精進していただきたい。「お金は後からついてくる」先輩から頂いた言葉です。

以上で取材報告を終えます。私は下地裕之先輩から多くの誉め言葉を頂いて役員業務をこなしてきました誠か偽りかは気にしませんが、単純な私には先輩の褒めの言葉には結構な力があり、それを信じて頑張ってきました。

下地裕之先輩これからの益々のご活躍を祈念しております。(広報部理事:島袋裕二)



令和7年度「全国一斉不動産表示登記無料相談会」

各支部会場別件数報告

開催実施期間：令和7年7月30日（水）、31（木）、8月1日（金）

支部名	日 時	開 催 会 場	件 数	計
那 覇	7月30日（水）10時～16時	沖縄県庁	13	13
南 部	7月31日（木）10時～16時	南風原立中央公民館	11	11
宜野湾	8月1日（金）12時～16時	宜野湾市役所	5	9
	7月31日（木）10時～16時	北谷町役場	4	
中 部	7月31日（木）10時～16時	沖縄市産業交流センター	0	5
	同 上	うるま市役所	5	
北 部	7月31日（木）10時～16時	名護中央公民館	3	14
	同 上	金武町役場	3	
	同 上	本部町役場	2	
	同 上	東村役場	6	
宮 古	7月31日（木）10時～16時	宮古島役所	9	9
八重山	7月31日（木）10時～16時	石垣市役所	9	9
	計	県下12会場	70	70

具体的な相談内容について

登記相談	24件
境界争い	17件
その他	29件
合計	70件



那覇支部



南部支部



南部支部



宜野湾支部



中部支部



北部支部



北部支部

令和7年度九州ブロック協議会担当者会同

日 時：令和7年10月25日（土）～26日（日）

場 所：鹿児島サンロイヤルホテル

今年度の九州ブロック協議会担当者会同は、鹿児島会の担当で鹿児島市内において開催されました。各部の協議事項の一覧をご紹介します。

なお、協議の詳細につきましては、ホームページ内の「会員の広場」に各部の議事録を公開しておりますので、気になる項目がございましたら、ぜひご覧ください。

総務・財務部《協議事項》

1. 破産者情報の検索について
2. ハンコレスへの移行について
3. 調査士登録者増員に関する活動について
4. 会員証の携帯について
5. 事務局職員に対するハラスメント規定について
6. 苦情相談に対する事務局員の対応マニュアルについて
7. 各会総務部の総会で承認された事業計画について
8. 会則や諸規則について
9. 新入会員の登録について
10. 職印証明書の発行について
11. 事務局体制について
12. 総会における委任状出席者の取扱いについて
13. 会員減少に関する対策について
14. 事務局職員の分掌について
15. 会員及び会員補助者の異動・変更等の管理について
16. 職務上請求書の綴帳受け渡しについて

17. 事務局のDX化、業務効率化について
18. 外部講師への謝金に関する規程について
19. 各会の「諸規程集」の目次について
20. 会費値上げの効果について
21. 各会において販売する用紙や売り上げについて
22. 事務局職員の報酬について
23. 定時総会に関する予算について
24. 定時総会終了後の懇親会予算について
25. 会費値上げの時期と値上げ後の金額について
26. 総会開催通知と総会資料の電子化について
27. 各会会員の福利厚生と親睦事業の内容と参加人数に対する資金について
28. 賠償責任保険料の支払い方法について
29. 会費の現状と今後について
30. 法人会費について
31. 支部交付金について
32. 事務効率化の取り組みについて



総務・財務部部会 会議の様子

業務・研修部《協議事項》

1. 一般競争入札参加資格（全省庁統一資格）の取得について
2. 地積測量図の測地系について
3. 新技術導入及びDXについて
4. 所有者不明土地建物財産管理制度について
5. 職務上請求の使用の範囲について
6. 法務局からの要望事項への対応状況について
7. 業務に関する知識・情報等の会員間の共有ツールについて
8. 建物の登記に添付する工事完了引渡証明書について
9. マナブル全般について
10. 年次研修未受講者への対応について
11. 研修会のあり方について
12. 年次研修の未受講者への対応について
13. マナブルのメリット・デメリットについてお聞きしたい
14. 過去行われた研修テーマについて
15. manaable（マナブル）の利用促進について
16. 今後の研修会のありかたについて



業務・研修部部会 会議の様子

社会事業部《協議事項》

1. ADRの本相談・調停の進め方について
2. ADRセンター利用事例紹介について
3. センター研修（オンライン）の共同開催について
4. 認定調査士の活用について
5. 所有者不明土地・建物管理人の選任について
6. ADRセンターの収支状況について
7. ADRセンターの統合について
8. 簡易調停について
9. 市民からの相談電話対応について
10. センターへの調停申出の受付について
11. 調停内での分筆、所有権移転登記について
12. ADRセンターの認証取得の検討について
13. SNS活用状況について
14. 社会貢献活動（実施内容・予算状況）について
15. 公嘱協会との合同事業の実施状況について
16. 社会事業部の業務について
17. 「現地確認不能地」の取り扱いについて
18. 所有者不明土地に関する自治体との連携について
19. 無料相談会の相談員研修について
20. 法務局地図作成事業の人材育成について
21. 地図作成時の狭あい道路解消について
22. 狭あい道路問題の建築士との連携について
23. 道路用地の自治体への所有権移転について
24. 専門士業団体への参加状況について
25. 災害発生時の家屋被害調査について
26. 単位会での危機管理マニュアルについて



社会事業部部会 会議の様子

広報部《協議事項》

1. SNSの活用方法について
2. 広報部費について
3. 会報の内容充実の取り組みについて
4. 継続したい広報活動について
5. 将来の会員増加のための活動について
6. 出前授業について現在の広報活動と、これからの新しい広報活動について
7. 現在の広報活動と、これからの新しい広報活動について
8. HPに掲載する補助者募集について
9. 7月31日土地家屋調査士の日無料相談会について
10. 金融機関向けの研修会について
11. 広報グッズの作成について
12. 社会事業部との住み分けについて



広報部部会 会議の様子

懇親会

担当者会同1日目の終了後には懇親会が開かれ、各県会の皆様と親睦を深める有意義な時間となりました。



全体会議

担当者会同2日目の後半には全体会議が行われ、各部座長から協議事項に関する報告や、日調連理事からの報告がありました。広報部部会では、諸喜田秀和広報部長が座長として、協議内容をまとめた報告を行いました。

令和8年度の九州ブロック協議会は、沖縄会が担当させていただくことになりました。

役員一同、力を合わせて準備を進め、円滑で充実した協議となるよう努めてまいります。

会員の皆様には、ご理解とご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



諸喜田広報部長の報告



全体会議の様子



寄稿

『キッカケ』は。

那覇支部 島 袋 裕 二

親会後の二次会、三次会の場で夜に働く若い女性スタッフ達、話を聞いていると、子供を育てている、子供は夜間保育所に預けている、子供は親に預けている、などと耳にしたことがありますよね。

私が役員をしていた頃、沖縄士業ネットワーク協議会の構成士業担当会から、沖縄県の子供たちの状況の説明を受け、この協議会で何か出来ないかと提案されたことがありました。

10団体も集まると色々な意見があり、それを取り纏めるのには難しく結局は何もできず、各会持ち帰り協議することになり、当会でも当時180人の会員の賛同を得る案も出ず気持ちがくすぶっていました。

また、だいぶ前に那覇支部では老人福祉法人に対して、何年も続けて親睦事業の際にチャリティー募金で集まった資金を寄付していました。

これを基に、現在的那覇支部に親睦事業でのチャリティー募金を復活して、こども関連の福祉団体に寄付してはと提案をしています、実行には至りません。

そんな折に、私達夫婦にの前に、こどもの悲惨な状況のニュースを多く目にする様になりました。これらを目にする度に、心をモヤモヤさせられていたところに『養育

里親』と云うワードが夫婦に係わってきました。

これが『キッカケ』となり

二人で話し合い、これにチャレンジする事に決めて申し込みをしました。

約一年をかけ、福祉施設にいる子供達とふれあい。研修では、こども福祉の事、権利の事、現状などを色々と学び、令和7年6月に県から（里親認定証）を夫婦で授与されました。

認証直後に打診があり（一時養育）の依頼があり、それを快諾して「A子さん」を預かることになりました。

県内でも多くの子供達が、助けを必要としている現状を学んでおり、施設も定員オーバーな状態であることを踏まえ、認定直後に打診があることに子供達への助けはまだまだ必要で、まだまだ足りないと感じています。

大きな団体、多くが集まる組織を動かすことは難しいですが、まずは、自分達から一歩を踏み出し行動して小さな動きが、大きな動きに換わってくれたらと思います。

皆さんにも、これを『キッカケ』に小さな一歩を進めて、子供達の将来の手助けを初めてもらいたいと思います。小さな一歩は、

人それぞれ、寄付、募金、子ども食堂チケット購入など、心にとどめて気にかけてくれることでも、小さな一歩になります。

最後に、預かっている子へ言葉を
『チバレヨー!!』、『ちばいんどー!!
お～!!』



〒900-0003

那覇市安謝 2 丁目 15-7 OSS ビル 2F-II

TEL 098-988-1258

FAX 098-988-1257

satooya@taichuen.or.jp

<https://taichuen.or.jp/satooya/>

・里親制度の詳細は下記のホームページ等でもご覧になれます。

▶ 「里親制度等について」 (こども家庭庁HP)

<https://www.cfa.go.jp/policies/shakaiteki-yougo/satooya-seido/>

▶ 広げよう「里親の輪」里親制度を知る (朝日新聞GLOBE+HP)

<https://www.cfa.go.jp/policies/shakaiteki-yougo/satooya-seido/>

寄稿

自由研究

北部支部 細野 陽 一

いえのまわりのやじるしさかし

しらべたひ 8がつ 2かいどうで

1ねん2くみほその のぞみ



リエのまわりのやじるしかし

わたしのおとうさんのレニは
とちかうくちうをいいます。

おとうさんがズンズンにハートを
のかいたくて、ゆづんきゅうの
にしました。

リエのまわりのリエのズンズン
はくみてみるようにしたから
あいました。



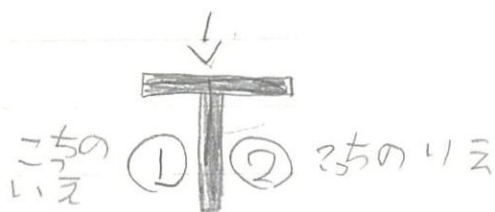


このヤじるしはきょうかいふれえととい
いえといえのさかいめを板か
いやすくしているんだよ。

ヤじるし、ふれえとだけじゃなくとこんな
ふれえともあるよ。



ここがさかいめ



ふれえとがはがれあからない
ときはどうすればいいかな。

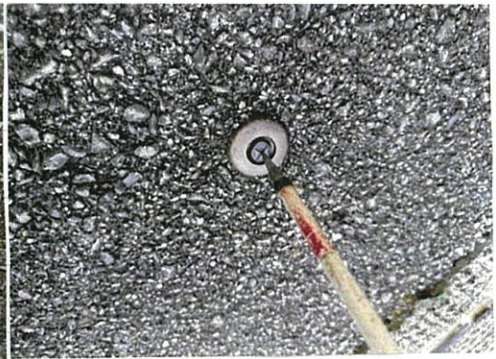
とるにあらがたりいたす
とあらうたうたす



1:22:1



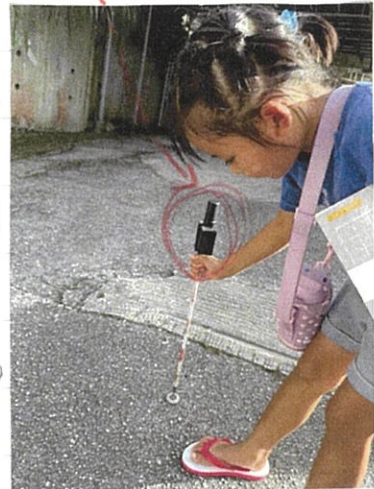
このかたりにたりいたす
は、とるにあらがたりいたす
とるにあらがたりいたす



このきじゅんアンのまんやかに
ドーピーーイスというきかいをさして
うちうからでんはをひるんだよ
ときうかいふれえとかよくてもうえ
といえのさかいやカッおかるんだ
よ。

うちうからでんは
をひるうためいちばん
うえはさあちゃいけなりんた
よ。

このくろいきかい
カッギーピーイス
というきかいだよ。



まとめ

ふ、だんあるいているみちを
きをつけてみるというりりふ
するしがあつたのしかつたよ。
あとしるしのいみもあつたのしかつ
たよ。

補足

あまり耳なじみのない職業かもしれませんが、【土地家屋調査士】をしております希の父です。土地家屋調査士は境界の専門家として市民の皆様からご依頼を受け測量や登記の申請の代理を承っております。

普段の業務の中で一般の方や小さい子と関わる事が少ない為、なかなか自分の子供たちにも説明が難しい仕事だったのですが、希が自由研究のテーマを『パパのおしごと!』と選んでくれましたので、張り切つて協力しました。名護小学校の北門付近の大西二丁目の一部地域、学区の大西三丁目や私の住居近くの大中三、四丁目は『名護第三土地区画整理事業』により、土地の境界標（文中の『きょうかいぷれえと』）や測量の基となる基準点（文中の『かざりしいたけ』）が大変良い状態で残っております。土地家屋調査士は各種資料や宇宙空間を周回するGPS（昨今は正確にはGNSSと呼びます）等の機器を利用して土地の境界を探し出

していきます。

今回の自由研究は宝探し感覚で楽しみながら子供たちとコミュニケーションが取れた、私にも大変有意義な時間となりました。

皆様も機会が有りましたら、境界や測量を意識しながら歩いてはいかがでしょうか。普段と違った視点で街づくりが見えてくるかもしれません。



久高名誉会長へ感謝状授与

令和 7 年 3 月末をもって退会された久高名誉会長に、長年のご功績を称え、5 月 28 日、当会にて感謝状の授与が行われました。式には執行役員をはじめ、名誉会長各位、公共嘱託登記土地家屋調査士協会理事長、政治連盟会長らが出席し、金城会長より感謝状が贈呈されました。

久高名誉会長は平成 7 年に入会され、平成17年から25年まで常任理事を 4 期、さらに平成25年から令和元年まで会長を 3 期務められました。会長在任中は会の発展と会員の資質向上に尽力され、強いリーダーシップと温厚なお人柄で会員から厚い信頼を集めてこられました。

その功績は広く認められ、平成26年日本土地家屋調査士会連合会会長表彰、平成27年那覇地方法務局長表彰、平成30年福岡法務局長表彰、令和 2 年法務大臣表彰と、数々の栄誉に輝いておられます。約30年にわたる調査士としてのご歩みは、本会の歴史を彩るものであり、その功労は大変大きなものであります。

式は和やかな雰囲気の中で進み、参加者一同が名誉会長の長年のご労苦をねぎらい、深い感謝の気持ちを共有いたしました。





スナップレポート

東京会懇親会

2024年11月17日



忘年会

2024年12月13日



調査士会 新年会

2025年1月6日



那覇地方法務局
山内局長離任挨拶

2025年3月24日



弁護士会役員就任挨拶

2025年4月1日



会長会議、懇親会、バスツアー

2025年4月5日～4月6日



那覇地方法務局
吉福局長着任挨拶

2025年4月8日

合格者オリエンテーション

2025年4月17日



委嘱状交付式

2025年8月8日



おきなわ境界問題センター研修会・委嘱状交付式

2025年8月15日



編集後記

広報部長として2期目を迎え、会報編集も3年目となりました。ようやく少しずつ慣れ、広報部理事一同、力を合わせて取り組むことができた一年でした。

本号では、前号に引き続き土地家屋調査士会理事の活動報告を中心に、会員の皆様へ日頃の会務の様子をお伝えしております。

全国一斉不動産表示登記無料相談会の開催にあたっては、新聞社を訪問し、告知にご協力いただきました。また、今年も県内の工業高校で出前授業を実施し、若い世代への職業理解の一助となるよう努めました。

さらに、沖縄県用地課職員を対象とした研修会を公嘱協会と合同で開催したほか、沖縄県司法書士会から研修講師のご依頼をいただくなど、活動の幅が一層広がった一年でもありました。

また、鹿児島県で開催された広報部担当者会同では座長を務め、貴重な経験を得ることができました。執筆時点の10月現在、11月には創立60周年記念事業の開催を控えております。

来年は創立60周年記念誌の発行や、九州ブロック協議会の沖縄県担当の年でもあります。これからも広報活動を通じて会の発展に貢献できるよう、引き続き精一杯努めてまいります。

広報部部长 諸喜田 秀和
広報部理事 島袋 裕二
広報部理事 吉田 美苗

Think different

Support Service

～新しい発想をしましょう～

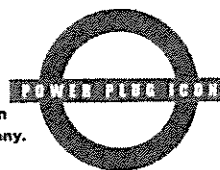


株式会社 Rise Logic

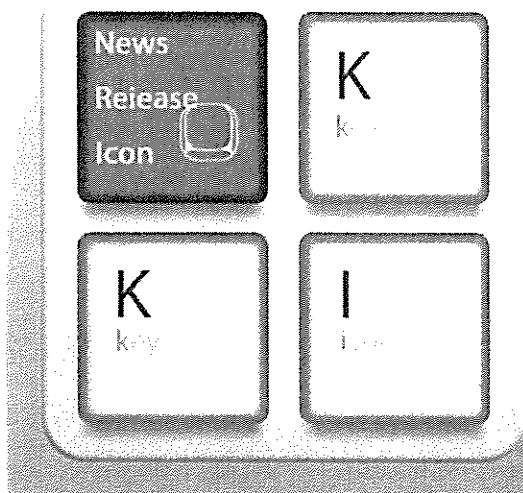
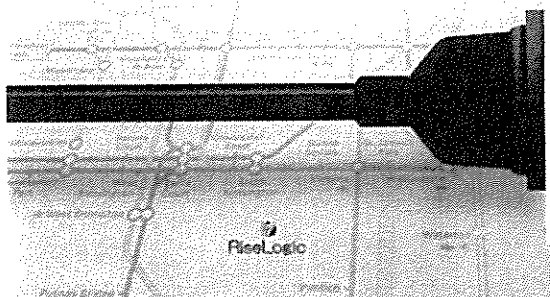
沖縄県中頭郡北中城村字島袋549-46

TEL 098-933-6381

As a computer apparatus sale company in Okinawa, I establish the position, and we RiseLogic provides the service in conjunction with the computer among a company.



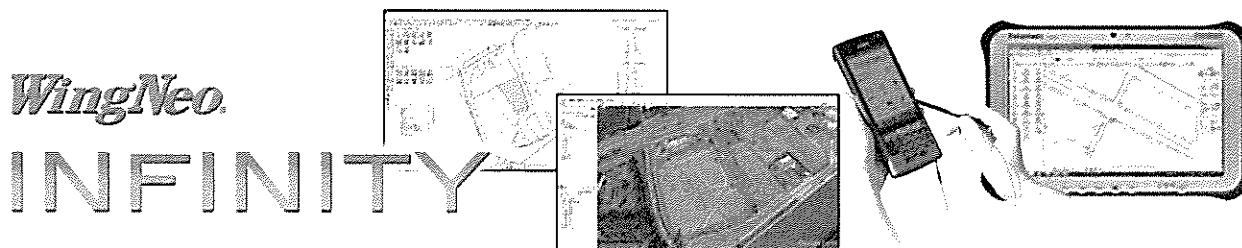
Info@rise-logic.com



Rise Logic

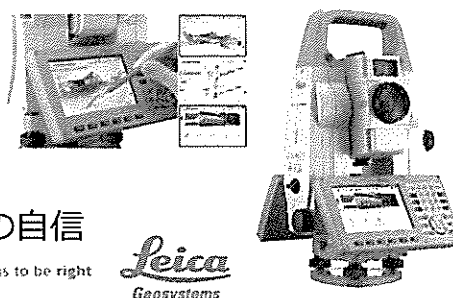
【登記測量CADシステム】 WingNeo INFINITY (ウイングネオ インフィニティ)

事務所での作業と現場での作業を1台でこなす工夫を組み込みます。地積測量図・建物図面作成から各種測量計算機能は勿論、モバイルとして現場に持ち出した際、現況観測やトラス計算・図化等の現場で欲しかった作業を実現します。



【ロボティックトータルステーション】 TS16

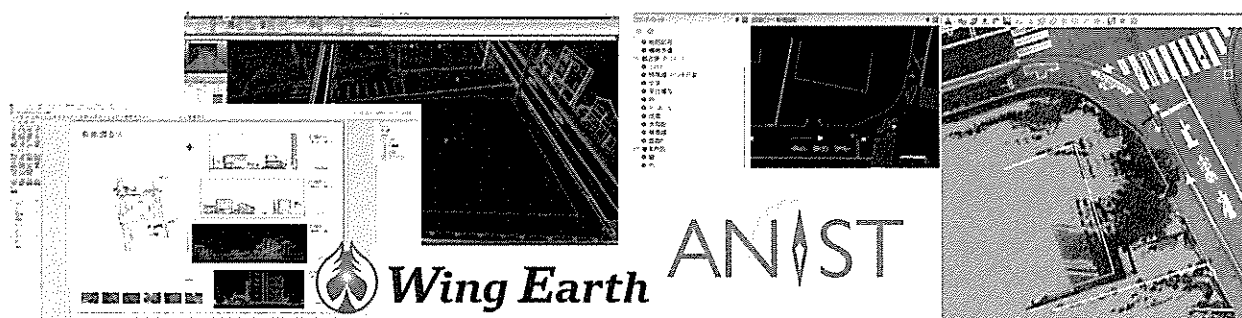
- 圧倒的に進化したプリズム捕捉性能！
- 5インチ大型カラータッチパネル液晶！
- 全タイプに自動視準 & 自動追尾を搭載！
- ライカだけのユニークな機能、パワーサーチ！
- 世界で初めてTSにノンプリを搭載したライカの自信
高精度 & 高速ノンプリ！



【3D点群編集ソフト】 Wing Earth(ウイングアース)・ANIST(アニスト)

基準点・引照点・境界点はTS観測、平面図・道路横断図には3Dスキャナを活用。
現場全体を事務所でも把握できる「3次元点群」からPC作業での座標登録、結線作成が簡単に！

点群活用による省力化を実現します！ 3次元計測も、成果作成も、**1日**で終わらせよう！



アイサンテクノロジー株式会社 沖縄地区特約店
ライカジオシステムズ株式会社 測量機器販売店



アイサンテクノロジー株式会社
〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目7番14号ATビル
アイサンテクノロジー・ライカジオシステムズ製品のご用命は、
沖縄地区特約店 株式会社フナテック まで TEL:050-3386-2539



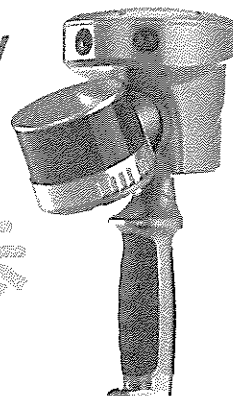
3Dレーザースキャナーを 駆使した2次元平面図作成!

3次元計測も、成果作成も、**1日**で終わらせよう!

CHCNAV ハンディーSLAM GNSS RTK RS10

- GNSS RTKとLiDARシステム、SLAM技術を統合! 1台2役!
- 屋内外の3次元計測を効率化、精度向上しました!

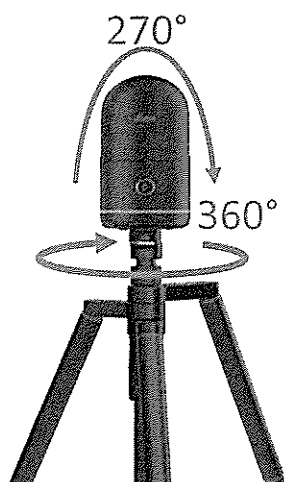
CHCNAV



歩

Leica 軽量

3Dレーザースキャナー BLK360G2



- IMU搭載で地心・求心、不要です。自動合成可能!
- 越境観測・現況観測・隣地への負担が最小限に!

BLK360G2なら
1器械点の計測時間
約1分50秒
(写真撮影込)
※Medium密度の場合



計測

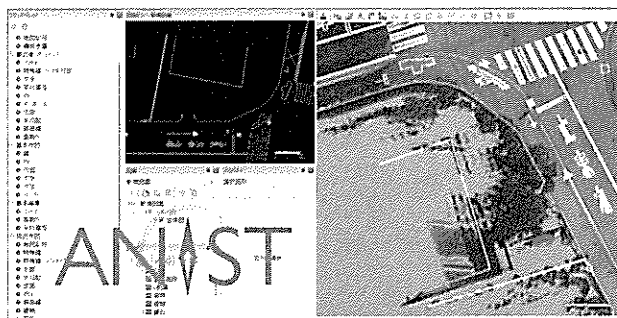
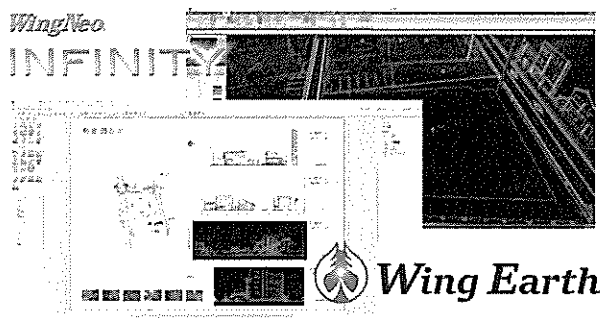
各種補助金制度も
ご利用頂けます。
お気軽にご相談下
さい。

取り込み

現況図面作成

【3D点群編集ツール】 (ウィングシリーズ)

【平面図作成ツール】 (アニスト)



AISAN TECHNOLOGY



〒901-2424 中城村南上原726番地1 306号室
TEL:050-3386-2539 FAX:050-3737-3070
URL: funatec.co.jp QRコードはコチラ→

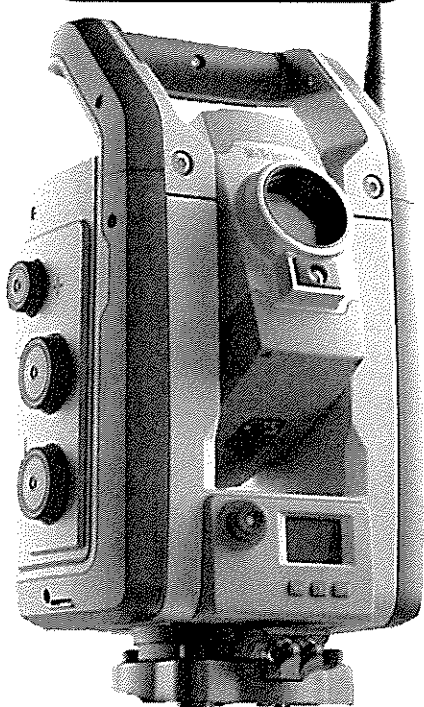




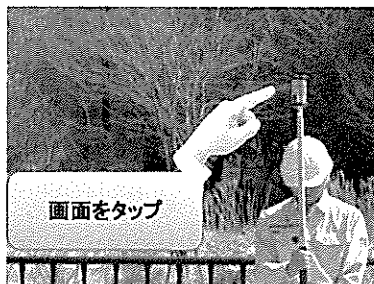
ハイスピード自動追尾トータルステーション

Trimble S7 VISION

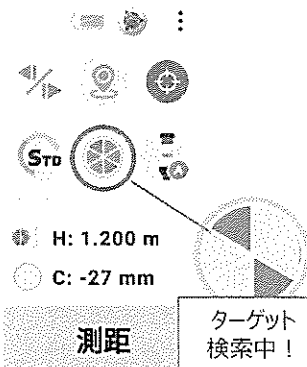
- ・自動視準
- ・自動追尾
- ・自動フォーカス



TS測定



HA: 324-23-46 VA: 82-26-36
SD: HD:

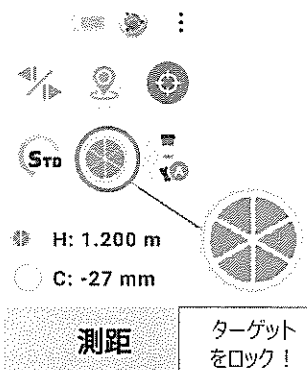


画面に映るターゲットをタップすると瞬時にオートロックを行う

TS測定



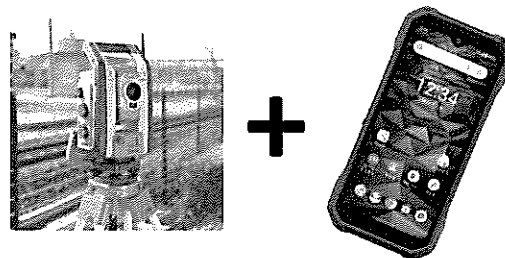
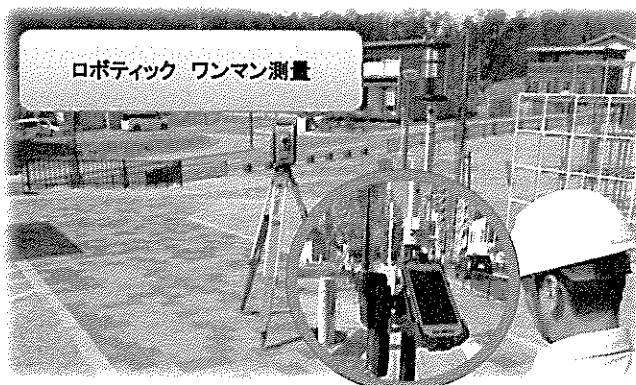
HA: 324-23-46 VA: 82-26-36
SD: HD:



プリズムを補正するとターゲットを画面の中心に表示

【画像で瞬時の再ロックを可能にする】

ワンマンでのロボティック測量時には、コントローラーの画面にミラーを持った自らの姿が映し出されます。プリズムにロックしていない場合には、画面上に映し出されるミラーをワンタップするだけで、自動的に望遠鏡を旋回し瞬時にミラーを捉えます。例えば、トータルステーションからミラーが遠く離れた場合でも、4段階のズームでプリズムを大きく映し出し瞬時のミラーサーチ及び再ロックが可能になります。Trimble VISIONは新しいロボティックスタイルを提供します。



【ショートレンジロボティック】

コントローラーに京セラDuraForce EXを使用することで、Trimble Sシリーズに内蔵のBluetoothで無線通信を行います。お求めやすい価格のオートロックモデルで、約60~100m以内のショートレンジロボティック測量が可能です。

実機デモのご依頼・ご相談はトリンブルパートナーズ沖縄まで！【トータルステーション・GNSS・3Dスキャナ・電子平板】
【点群処理ソフト・ひびわれ写真解析ソフト】



Trimble Partners Okinawa Inc.

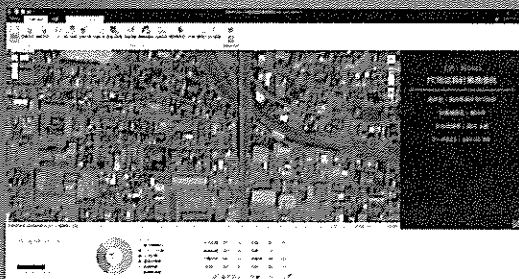
トリンブルパートナーズ沖縄有限公司

〒901-1117 南風原町字津嘉山1765 セレクション津嘉山205号

TEL: 098-861-7917 FAX: 098-861-7915



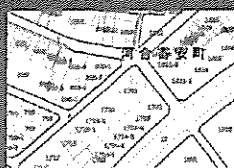
FUKUI COMPUTER


TREND-ONE
 測量CADシステム【トレンドワン】

全国の測量業、土地家屋調査士業においてトップクラスのシェアを誇る測量CADシステムです。豊富な測量計算機能と、それに連動したCADで幅広い業務に対応しています。

●登記データ入出力 (オプション)

登記所備付地図データの読込み手順を大幅に簡素化し、従来の約80%の時間削減を実現しました。特に不動産に関わる業務や行政、用地測量の計画時、登記業務において、飛躍的な生産性向上を支援します。

動画で
チェック
TREND-POINT
 3D点群処理システム【トレンドポイント】

多彩で高精度なデータ編集機能と、距離・面積・土量など様々な計測機能を搭載した3D点群処理システムです。大規模点群も軽快に扱え、辛い所に手が届く数々の機能で、多大な支持を得ています。

●3D Gaussian Splatting 読込 (オプション)

写実的な空間再現に優れた、3D Gaussian Splattingの読込に対応しました。看板等の文字やコンクリートのクラック、境界ラインなど、従来の点群に比べ圧倒的に鮮明に再現され、トレース作業等を効率化します。

動画で
チェック
FIELD-POCKET
 現場測量アプリ【フィールドポケット】

Android搭載のスマートフォンで動作する、測量業、土地家屋調査士業向け観測アプリです。低コストで導入でき、弊社の測量CADなど内業用PCソフトとの連動性に優れているため、一連の業務を非常に効率化できます。

土地家屋調査士業務を ソフトウェアでサポート！



福井コンピュータ株式会社

九州営業所／福岡市博多区博多駅東2-2-13 3F

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島

◎製品情報・カタログ請求・各種お問い合わせは

[福井コンピュータグループ組合案内]

0570-039-291

福井コンピュータ

https://const.fukui-compu.co.jp



【特別価格・送料当社負担でお求めいただけます！】

改正が続いた「筆界をめぐる登記実務」のための解説書！



納得！明解！ 筆界をめぐる登記実務

近刊案内！

元・横浜地方法務局不動産登記部門次席登記官 宇山 聡 著

2025年7月刊 A5判2色刷 200頁 定価3,520円(本体3,200円) → 特価3,170円(税込)

- コロナ禍の混乱で適切な理解の浸透が図られなかった関連法令等を整理しつつ、法務局職員や土地家屋調査士の実務における基本的対応等についてわかりやすく解説。
- 法務局における具体的な筆界調査手順を中心とした効率的な調査事例や、登記等類型別の事例、留意点などを集成。

登記官はここをチェック！

押さえるポイントはどこかがすぐにわかる！

(公共図根に基づき作成された添付図面例)

見やすい
2色刷！

図1 筆界調査表

筆界番号	筆界名称	筆界内容	筆界面積	筆界位置
1	筆界1	筆界1の内容	100.00㎡	筆界1の位置
2	筆界2	筆界2の内容	200.00㎡	筆界2の位置
3	筆界3	筆界3の内容	300.00㎡	筆界3の位置
4	筆界4	筆界4の内容	400.00㎡	筆界4の位置
5	筆界5	筆界5の内容	500.00㎡	筆界5の位置
6	筆界6	筆界6の内容	600.00㎡	筆界6の位置
7	筆界7	筆界7の内容	700.00㎡	筆界7の位置
8	筆界8	筆界8の内容	800.00㎡	筆界8の位置
9	筆界9	筆界9の内容	900.00㎡	筆界9の位置
10	筆界10	筆界10の内容	1000.00㎡	筆界10の位置

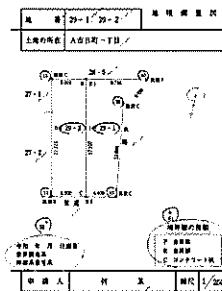


図2 筆界調査表の添付図面例

図3 筆界調査表の添付図面例

図4 筆界調査表の添付図面例

図5 筆界調査表の添付図面例

図6 筆界調査表の添付図面例

図7 筆界調査表の添付図面例

図8 筆界調査表の添付図面例

図9 筆界調査表の添付図面例

図10 筆界調査表の添付図面例

地積測量図等の作成及び審査における留意点等について、実際の審査等を踏まえた審査用図面記載例を用いて解説！

※ 弊社既刊

「4訂版 表示登記にかかる各種図面・地図の作成と訂正の事例集」(2022年)と連動しています。



特別価格・送料当社負担	書籍注文書	ご注文締切	2026年3月27日(金) 必着	お届け	確認後、4～5営業日で、郵送または宅配にて出荷します(国内限り)。※在庫が無い場合は、少々お時間を頂きます。
ご注文	FAX.03-3953-2061	本枠内を記入し、当社に送信ください。		お支払	商品に同封の振込用紙をご利用ください(振込手数料は当社負担)。

書名	特価(税込)	部数
納得！明解！筆界をめぐる登記実務	3,170円	部

右記コードまたはURLからでも
特別価格・送料当社負担にてご注文いただけます！
<https://forms.gle/eu6KPtDJ1PGsJq36>



販促コード：205221

フリガナ	ご注文日
お名前	年 月 日
	TEL
ご住所 〒	FAX
	通信欄

※ご記入いただいた個人情報は、商品の発送、お支払いの確認などの連絡および当社からの各種ご案内(刊行物のDM、アンケート調査など)以外の目的には利用いたしません。



日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 www.kajo.co.jp
営業部 TEL(03)3953-5642 FAX(03)3953-2061 X(旧Twitter):@nihonkajo



見た目以上の高性能！現場でわかる圧倒的なパフォーマンス。

HiPer VR

GNSS受信機

LongLink
通信

デジタル
無線

セルラー
通信

マルチGNSSに対応し
安定した測位機能を実現！
コンパクトな一体型GNSS受信機



NEW

滑らかな駆動で追尾性能と
旋回スピードがアップ！

Geodetic Total Station GT-1500/700シリーズ

自動追尾モデル/自動視準モデル



Silky Drive® 搭載で
滑らかな操作性！
従来比2倍の追尾性能
と旋回スピード10%
向上を実現！



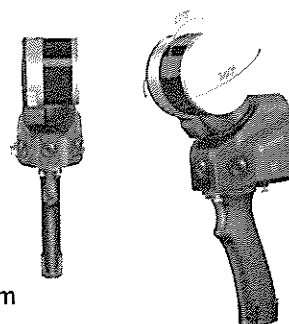
アジルジオデザイン株式会社 STONEX製 SLAM

GNSS不要で歩くだけで三次元データ収集が可能

3Dハンドヘルド
レーザースキャナー

X120GO

X120GOを手にとって、
スタートボタンを押して
歩くだけで、三次元データ
の収集が可能です。
計測最大距離は0.5m~120m

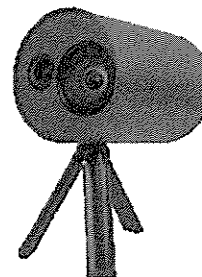


GNSS不要で精度3mm@1mを実現する最新鋭の
写真測量デバイス

SLAMスキャナー

XVS

かつてない写真測量を可能にした
XVSは、搭載したRGBカメラと
SLAMカメラにより、最長40mの
対象物まで撮影した高解像度画像
から、3Dモデルを生成します。



トータルステーション、GNSS受信機などの測量機器販売、メンテナンス、
レンタル、測量設計用CADシステムなどのソフト販売、サポートの事ならお任せください！

お問合せはお気軽に
☎ 098-992-3115



ISO校正・検査事業者認定店 J1901006
有限会社 南部測量機

〒901-0306
沖縄県糸満市
西崎町4-17-23



メールアドレス：nanbusok@siren.ocn.ne.jp ホームページ：http://nanbusok.com



安定した「はかる」を提供します

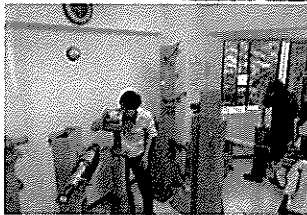
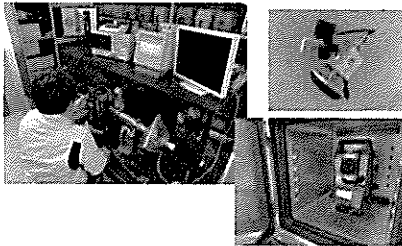
株式会社 測機システム

サービス事業部

メーカー問わずご相談下さい

JSIMA日本測量機器工業会
校正・検査認定事業者
ソキア認定サービス店

5方向 コリメータ設備
恒温槽(環境試験)設備
GNSS(GPS)検査設備
TLS(地上型レーザースキャナ)検査設備



測量機検定室

- ・社内検査
定期点検、修理
校正検査、精度試験
- ・県内唯一、GNSS(GPS)検査
地上型レーザースキャナ検査も可能
- ・証明書発行
検査報告書、検査成績書
校正証明書、試験成績書
- ・機器検定受付
日本測量協会技術センター
日本測量機器工業会(JSIMA)

レンタル事業部

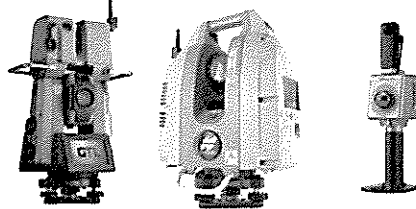
最新機器をご用意しております



トプコンソキアポジショニングジャパン
ビジネスパートナー

・3D計測

ドローン・3Dスキャナー
LiDAR、解析サービス
他レンタルあります！



・GNSS・MDTS測量



・i-Construction BIM/CIM サポート



杭ナビショベル MC/MG

- ・電子平板、ライノスケー、トランスパー
- ・環境測定機器、建設材料試験機
(振動騒音・ガス酸素・水質・土質・風速計など)

販売サポート 事業部

業務効率化を支援します



福井コンピュータ認定店

・ソフトウェア

土地家屋調査士専用
公共測量・設計専用
土木測量専用
土木積算専用
建築設計専用
導入指導・保守

・ハードウェア

ペンコン、パソコン
周辺機器一切
ネットワーク設置
メンテナンス

・サイバープロテクトサービス ・リモートサポートサービス

- ・測量／計測機器全般
- ・環境測定機器／安全機材
- ・建設材料試験機
- ・境界明示用品(フラ杭他)
- ・設計／製図用品
- ・複写機／事務機事務用品
- ・セミナー企画(CPD/CPDS)
- ・講師派遣

お問い合わせはお気軽にご連絡下さい！

<https://www.sokki-system.jp/>

TEL 098-857-6500

FAX 098-857-0713

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄753番地8

測量機器総合保険

(動産総合保険)

のご案内

日本土地家屋調査士会連合会共済会 測量機器総合保険の特徴

「土地家屋調査士賠償責任保険」とは異なりますのでご注意ください。

会員が所有・管理する測量機器(製品No.のある機器に限る)について

**業務使用中、携行中、保管中等の
偶然な事故による損害に対し、
保険金をお支払いします。**

例えば

1

測量中誤って
測量機器を倒し壊れた。



2

保管中の測量機器が
火災にあい焼失した。



3

測量機器を事務所、自宅等
に保管中に盗難にあった。



等

● 個別にご加入されるよりも保険料が割安です。

保険金額200万円の年間保険料

測量機器総合保険(本制度): 30,000円

動産総合保険(個別加入): 83,820円

● 免責金額はありません。

このチラシは動産総合保険の概要をご説明したものです。詳細はパンフレット等をご覧ください。
ご加入ご検討の方、パンフレットをご希望の方は桐栄サービスまたは三井住友海上までご連絡ください。

保険期間

2025年4月1日午後4時から2026年4月1日午後4時まで

※保険期間の中途での加入もできますので、ご希望の場合には桐栄サービスまでご連絡ください。

約64%
割安!

お問い合わせ先

日本土地家屋調査士会連合会共済会

取扱代理店

有限会社桐栄サービス

東京都千代田区神田三崎町1丁目2-10

土地家屋調査士会館6F

TEL 03(5282)5166

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

東京都千代田区神田駿河台3-11-1

TEL 03(3259)6692



提供 嘉数高台から真志喜方面（諸喜田秀和）

沖縄県土地家屋調査士会 会報おきなわ NO.65

発行日 令和7年12月31日
編集者 金城 行 男
広報部長 諸喜田 秀 和

発行所 沖縄県土地家屋調査士会
那覇市泉崎2-1-4
電話 (098)834-7599

印刷所 株式会社 国際印刷
電話 (098)857-3385
